

委員募集は締め切りました

会 員 各 位	「ばね鋼の結晶粒度と低温焼鈍と 疲労強度の調査研究委員会」 委員募集について	研 第 2-0703
		2020年7月3日
		日本ばね学会

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度に発足する標記委員会の委員を募集いたしますので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

ばねに要求される性能としては繰り返し荷重に耐える疲労性、荷重を保持するための耐へたり(クリープ)性、腐食環境下での耐食性や遅れ破壊性など様々である。一般に金属を強化する機構として結晶粒微細化は、ばねの疲労やへたりに対して有効であることが知られている。しかし、疲労に関しては、集合組織として使われるアルミや銅などでは有効なデータが数多く見られるが、焼入れ焼戻したばね鋼ではあまり明確なデータが見当たらない。そこで、冷間成形ばねではへたり抑制に効果のあるひずみ取り焼鈍との関係も踏まえつつ、旧オーステナイト結晶粒度と疲労強度の関係について明らかにすることを目的とする。特に結晶粒度に影響を与えるVの有無によってどのような違いが見られるのか、強度の違いによってその影響度はどう変わるのか、何よりもその理由は何なのか、裏付けデータを明らかにして今後のばね設計の根拠としたい。焼戻しマルテンサイト組織の結晶粒度は疲労に対して影響を及ぼすのか調査を行うため「ばね鋼の結晶粒度と低温焼鈍と疲労強度の調査研究委員会」を立ち上げ委員を募集いたしますので奮ってご応募いただきますようお願いいたします。

2. 委員会構成と予定期間

- 委員長 : 平上大輔(日本製鉄株式会社)
- 副委員長 : 末廣智信(日鉄 SG ワイヤ株式会社)他 1~2 名程度選出予定
- 予定期間 : 2020年8月~2022年3月